



2025年9月17日

各位

会 社 名 株式会社アイガー
(コード番号 9226 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 木田裕士
問合せ先 取締役経営管理局长 武内美由紀
電話番号 03-3212-5500 (代表)
(URL <https://field.ne.jp>)

(訂正)「2025年11月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社が2025年7月29日に開示致しました「2025年11月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部誤りがありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正理由

「2025年11月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後に、仕掛品(原価計算)の帰属時期に関する資料の一部に誤りがあることが判明したために、訂正するものであります。

2. 訂正の内容

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

3. 通期の予想

仕掛品(原価計算)の中間期の帰属時期に誤りはありませんでしたが、2025年11月期の通期の帰属であるため、「2025年11月期の連結業績予想」に変更はないと予想しております。

【訂正後】

2025年11月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年 7月29日

上場会社名 株式会社アイガー 上場取引所 東
コード番号 9226 URL https://field.ne.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木田裕士
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理局长 (氏名) 武内美由紀 TEL 03 (3216) 6111
中間発行情報提出予定日 2025年 8月29日 配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無：無
中間決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期中間期の連結業績(2024年12月 1日～2025年 5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期中間期	1,114	11.3	225	21.5	224	21.2	151	21.0
2024年11月期中間期	1,001	6.2	185	14.0	185	14.1	125	14.1

(注) 包括利益 2025年11月期中間期 151百万円 (19.5%) 2024年11月期中間期 126百万円 (14.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期中間期	148.96	144.57
2024年11月期中間期	123.14	119.49

(参考) 持分法投資損益 2025年11月期中間期 一百万円 2024年 11月期中間期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期中間期	1,298	506	39.0
2024年11月期	744	372	50.0

(参考) 自己資本 2025年11月期中間期 506百万円 2024年11月期 372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	0.00	16.50	16.50
2025年11月期	0.00		
2025年11月期(予想)		16.50	16.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年11月期の連結業績予想(2024年12月 1日～2025年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,603	12.3	63	0.6	61	0.9	40	11.6
								39.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年11月期中間期	1,070,000株	2024年11月期	1,070,000株
② 期末自己株式数	2025年11月期中間期	50,000株	2024年11月期	50,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年11月期中間期	1,020,000株	2024年11月期中間期	1,020,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信（添付資料）3ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	9
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(会計方針の変更)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(セグメント情報)	12
4. その他	13
継続企業の前提に関する重要事象等	13

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、円安による訪日外国人（インバウンド）の回復や雇用・所得環境が改善する下で、穏やかな回復が続くことが期待されておりましたが、ヨーロッパや中東の紛争激化、米国の自国優先的な政策や、円安、資源価格等の上昇等、海外景気の下振れがわが国の景気を下押ししており、依然として先行きが不透明な状況にあります。

当社グループが事業展開する国内広告市場も、米国との関税交渉の影響は不明な上、大幅な物価高により仕入価格が上昇し、厳しい状況となっております。

当社グループは、企業理念として「可能性を信じ、常に新しい分野に挑戦をし続け、それを企業化していく」を掲げ、ブランディング・プロダクションとして35年の実績と経験に基づく広告営業力と、独自の社内制作一貫体制で広告から空間まで様々なメディアを組み合わせた付加価値の高いブランディングを支援できる「提案力」と「クリエイティブ力」を活かし、新型コロナ終息後を見据え、新行動様式やWEBでのオープンキャンパス等の新たな需要に対して広告戦略・広告制作の提案を進めてきた結果、受注残高は707,125千円（前年同月比155,285千円増加28.1%増）と伸びており、翌年度に向けて順調な営業活動を進めております。

当中間連結会計期間における売上高は1,114,873千円（前年同期比11.3%増加）、営業利益225,607千円（前年同期比21.5%増加）、経常利益は224,261千円（前年同期比21.2%増加）、親会社株主に帰属する中間純利益は151,939千円（前年同期比21.0%増加）となりました。

なお、当社グループは広告ブランディング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は1,133,882千円となり、前連結会計年度末に比べ545,142千円増加（92.6%増）となりました。これは主として、売掛金の増加395,167千円、現金及び預金の増加183,947千円、仕掛品の減少40,047千円によるものです。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は164,736千円となり、前連結会計年度末に比べ9,255千円増加（5.9%増）となりました。これは主として、繰延税金資産の増加11,548千円によるものです。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は605,461千円となり、前連結会計年度末に比べ381,288千円増加（170.0%増）となりました。これは主として、買掛金の増加241,224千円、未払法人税等の増加66,086千円によるものです。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は186,586千円となり、前連結会計年度末に比べ38,650千円増加（26.1%増）となりました。これは長期借入金の増加38,650千円によるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は506,571千円となり、前連結会計年度末に比べ134,460千円増加（36.1%増）となりました。これは主として親会社株主に帰属する中間純利益の増加151,939千円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は577,534千円となり、前中間連結会計期間末に比べ83,172千円増加（16.8%増）となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は152,737千円（前年同期比64,721千円増加）となりました。主な増加要因は、税金等調整前中間純利益の増加224,261円、仕入債務の増加額241,224千円、未払費用の増加額27,334千円、棚卸資産の減少額40,047千円によるものです。一方、主な減少要因は、売上債権の増加額395,167千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金はありませんでした。（前年同期比193千円増加）

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は31,874千円（前年同期比3,308千円減少）となりました。増加要因は、長期借入金による収入100,000千円によるものです。一方、減少要因は、長期借入金の返済による支出51,296千

円、配当金の支払額16,830千円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、ヨーロッパや中東の紛争激化、米国の自国優先的な政策や、円安、資源価格等の上昇等、先行きの不透明さが増す状況が続くと思われます。

このような環境の中、当連結会計年度（2025年11月期）の連結業績見通しにつきましては、2025年1月14日に公表した業績予想値から変更はなく、売上高1,603百万円（前年同期比12.3%増）、営業利益63百万円（前年同期比0.6%増）、経常利益61百万円（前年同期比0.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益40百万円（前年同期比11.6%増）を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内を中心に事業を展開しており、当社グループの利害関係者の多くは国内の株主、債権者、取引先等であるため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	393,587	577,534
売掛金	63,449	458,616
仕掛品	107,038	66,991
その他	24,663	30,740
流動資産合計	588,739	1,133,882
固定資産		
有形固定資産		
建物	65,530	65,530
減価償却累計額	△37,879	△38,595
建物（純額）	27,651	26,934
機械装置及び運搬具	10,094	10,094
減価償却累計額	△9,854	△9,914
機械装置及び運搬具（純額）	240	180
土地	30,851	30,851
工具、器具及び備品	47,543	47,543
減価償却累計額	△44,428	△45,025
工具、器具及び備品（純額）	3,115	2,518
有形固定資産合計	61,858	60,484
無形固定資産		
ソフトウェア	273	170
その他	149	149
無形固定資産合計	423	320
投資その他の資産		
差入保証金	90,451	89,685
繰延税金資産	2,441	13,989
その他	306	256
投資その他の資産合計	93,199	103,931
固定資産合計	155,480	164,736
資産合計	744,220	1,298,618

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (2025年 5 月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,300	250,524
1年内返済予定の長期借入金	89,282	99,336
未払費用	70,185	97,505
未払法人税等	17,783	<u>83,869</u>
未払消費税等	19,986	35,450
契約負債	16,232	37,420
その他	1,403	1,355
流動負債合計	<u>224,173</u>	<u>605,461</u>
固定負債		
長期借入金	147,936	186,586
固定負債合計	<u>147,936</u>	<u>186,586</u>
負債合計	<u>372,109</u>	<u>792,047</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,000	17,000
利益剰余金	349,181	<u>484,291</u>
自己株式	<u>△5,000</u>	<u>△5,000</u>
株主資本合計	<u>361,181</u>	<u>496,291</u>
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	10,929	10,279
その他の包括利益累計額合計	<u>10,929</u>	<u>10,279</u>
純資産合計	<u>372,110</u>	<u>506,571</u>
負債純資産合計	<u>744,220</u>	<u>1,298,618</u>

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
売上高	1,001,336	1,114,873
売上原価	533,317	<u>596,391</u>
売上総利益	468,018	<u>518,482</u>
販売費及び一般管理費	282,279	292,874
営業利益	185,739	<u>225,607</u>
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	317	-
営業外収益合計	317	0
営業外費用		
支払利息	1,033	1,102
為替差損	-	245
営業外費用合計	1,033	1,347
経常利益	185,023	<u>224,261</u>
税金等調整前中間純利益	185,023	<u>224,261</u>
法人税、住民税及び事業税	71,049	83,869
法人税等調整額	△11,624	<u>△11,548</u>
法人税等合計	59,425	<u>72,321</u>
中間純利益	125,598	<u>151,939</u>
親会社株主に帰属する中間純利益	125,598	<u>151,939</u>

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
中間純利益	125,598	<u>151,939</u>
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,022	△649
その他の包括利益合計	<u>1,022</u>	<u>△649</u>
中間包括利益	126,621	<u>151,290</u>
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	126,621	<u>151,290</u>

(3) 中間連結株主資本変動計算書

前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	17,000	329,717	△5,000	341,717
当中間期変動額				
剰余金の配当		△16,830		△16,830
親会社株主に帰属する 中間純利益		125,598		125,598
株主資本以外の項目の 当中間期変動額 (純額)				
当中間期変動額合計	-	108,768	-	108,768
当中間期末残高	17,000	438,485	△5,000	450,485

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	10,535	10,535	352,252
当中間期変動額			
剰余金の配当			△16,830
親会社株主に帰属する 中間純利益			125,598
株主資本以外の項目の 当中間期変動額 (純額)	1,022	1,022	1,022
当中間期変動額合計	1,022	1,022	109,791
当中間期末残高	11,557	11,557	462,043

当中間連結会計期間 (自 2024年12月 1 日 至 2025年 5 月31日)

(単位: 千円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	17,000	349,181	△5,000	361,181
当中間期変動額				
剰余金の配当		△16,830		△16,830
親会社株主に帰属する 中間純利益		<u>151,939</u>		<u>151,939</u>
株主資本以外の項目の 当中間期変動額 (純額)				
当中間期変動額合計	-	<u>135,109</u>	-	<u>135,109</u>
当中間期末残高	17,000	<u>484,291</u>	△5,000	<u>496,291</u>

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	10,929	10,929	372,110
当中間期変動額			
剰余金の配当			△16,830
親会社株主に帰属する 中間純利益			<u>151,939</u>
株主資本以外の項目の 当中間期変動額 (純額)	△649	△649	△649
当中間期変動額合計	△649	△649	<u>134,460</u>
当中間期末残高	10,279	10,279	<u>506,571</u>

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	185,023	224,261
減価償却費	1,692	1,476
受取利息	△0	△0
支払利息	1,033	1,102
売上債権の増減額 (△は増加)	△406,370	△395,167
棚卸資産の増減額 (△は増加)	42,327	40,047
仕入債務の増減額 (△は減少)	235,960	241,224
未払費用の増減額 (△は減少)	28,564	27,334
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16,775	15,463
その他	△7,576	15,879
小計	97,429	171,621
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△1,033	△1,102
法人税等の支払額	△8,380	△17,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,015	152,737
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△193	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△193	-
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△47,988	△51,296
配当金の支払額	△16,830	△16,830
財務活動によるキャッシュ・フロー	35,182	31,874
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,043	△664
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	124,047	183,946
現金及び現金同等物の期首残高	370,313	393,587
現金及び現金同等物の中間期末残高	494,361	577,534

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは単一セグメントであるため、該当事項はありません。

4. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。